



我々は**未来**を考え
新しいものへの**挑戦**を図り
社会に対し積極的に**貢献**する

関東化学は1944年（昭和19年）の創立以来、様々な産業を支える『総合試薬メーカー』として、常に生まれる新しいニーズに応え、独自技術を駆使した多くの製品を世に送り出し、成長してまいりました。ハイテク産業には超高純度の電子工業用薬品が使用され、医療分野では臨床検査薬が疾病の早期発見に貢献しています。

試薬が貢献する分野はいつも私たちの近くにあり、毎日の生活を支えています。

はじめに

近年、薬毒物による中毒事故や、麻薬・覚醒剤、大麻の乱用による事件が多発しています。通常、薬毒物の分析は、ガスクロマトグラフィーや液体クロマトグラフィーなどの機器分析法で行われますが、操作が煩雑であり、同定には多くの時間を要します。弊社では、現場で簡単・迅速に薬毒物の検出を行うことができる簡易スクリーニングキットを各種ご用意しています。

ピンクのカテゴリーでは、弊社が研究機関と共同で開発したキットを掲載しています。青のカテゴリーでは、海外より輸入したイムノクロマト法の原理に基づいたスクリーニングキットを掲載しています。ラインの有無を確認するだけで、尿中および唾液中の薬物を簡単に検出できます。

様々な製商品をご用意していますので、目的に応じてご選択ください。

CONTENTS

弊社製品

	頁
有機りん系農薬検出キット	4
アセトアミノフェン検出キット	5
アジ化ナトリウム簡易検出キット	6
アルコールテストストリップ	7
マルキス試薬	8
シモン試薬	8
関連製品	9

海外輸入商品（イムノクロマトキット）

	対象検体	頁
Status DS10	尿	10
AccuSign® シリーズ	尿	11
DRIVEN-FLOW® M8-Z	尿	12
DRIVEN-FLOW® IV M6	尿	13
DRIVEN-FLOW® IVシリーズ	尿	14
SureStep MDMA	尿	14
NarcoCheck® シリーズ	尿	15
Rapid Testシリーズ	尿	15-16
ToxWipe™ Oral 6+	唾液	17
参考情報		18-19



- 製品の最新情報については、弊社ホームページ (<https://www.kanto.co.jp/>) の製品情報検索サイト「Cica-Web」もしくは電子版「総合カタログ」でご確認ください。
- 本記載価格に、消費税等は含まれておりません。
- 本掲載の製品は、試薬（試験、研究用として用いる化学薬品）であり、体外診断用医薬品ではありませんので、診断等の目的では使用しないでください。
- 本掲載の製品は簡易スクリーニングキットです。正確な定量は機器分析などの他の方法をご利用ください。

●略号

- 毒 …… 毒物及び劇物取締法における毒物
- 劇 …… 毒物及び劇物取締法における劇物
- 危 …… 消防法による危険物
- 冷 …… 冷蔵保管（0～6℃）

<商標>

- ・「AccuSign」はPrinceton BioMeditech Corp.（米国）の商標です。
- ・「DRIVEN-FLOW」はAlfa Scientific Designs, Inc.（米国）の商標です。
- ・「NarcoCheck」はKappa City Biotech SAS（仏国）の商標です。

有機りん系農薬検出キット

生体内神経伝達物質であるアセチルコリンを分解する酵素（アセチルコリンエステラーゼ）が有機りん系農薬によって活性阻害されると、縮瞳や意識混濁などの臨床症状を引き起こします。これらの農薬は園芸用に市販されているものもあり、比較的に入手が容易なため、誤飲や意図的な服用による中毒事故が毎年発生しています。有機りん系農薬検出キットは、検体中の有機りん系農薬を簡便に検出できるキットです。



■ キット構成

- ①NBP（4-（4-ニトロベンジル）ピリジン）試薬入り試験管：10本
- ②TEP（テトラエチレンペンタミン※）試薬 劇 危：2 mL × 1本
※医薬用外劇物に該当（別名：3, 6, 9-トリアザウンデカン-1, 11-ジアミン）
- ③抽出溶媒（3-ペンタノン） 危：11 mL × 1本
- ④試験管立て：1個

■ 検出感度

約10 ppm（農薬の種類によって異なります。詳細は下記表をご覧ください。）

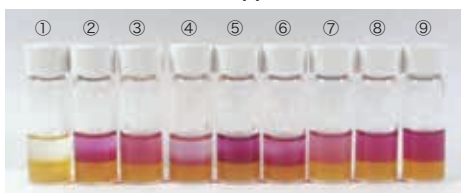
■ 使用方法（電子レンジ使用時：約5分、沸騰浴使用時：約30分）

- ①試料1 mLをNBP試薬入り試験管にとる
- ②100℃で20分間加熱する
※電子レンジ使用可能（目安：500Wで20～30秒）
- ③TEP試薬を2滴加えて激しく攪拌する
- ④抽出溶媒を1 mL加えて試験管のキャップを閉め、転倒混和する
- ⑤静置して上層の色を観察し判定する

■ 判定方法

有機りん系農薬	上層の色
含有	赤～赤紫色
不含有、検出感度以下	無色～微白色

尿検体を用いた例（農薬50 ppm添加）



- ①ヒト正常尿 ②フェントロチオン ③ピリミホスメチル
- ④トルクロホスメチル ⑤シアノホス ⑥マラチオン
- ⑦ジメトエート ⑧フェントエート ⑨メチダチオン

※NBPは有機りん系農薬の他、よう化メチルなどのアルキル化剤やブロムワレリル尿素（催眠薬）とも反応します。試料中にこれらの物質が数～数十ppm以上含まれている場合は試薬が呈色します。
※着色成分により測定が妨害されることがあります。

有機りん系農薬含有の際に呈色する色調、及び検出感度は検体、農薬の種類によって若干異なります。下表は、健康成人の尿に有機りん系農薬を添加し、検出感度を調べた一例を示したものです。

農薬	検出感度 (ppm)	農薬	検出感度 (ppm)
ジクロロボス (DDVP)	1	メチダチオン (DMTP)	10
ジメトエート	1	フェントエート (PAP)	10
フェントロチオン (MEP)	1	ホサロン	10
アセフェート	10	ホスメット (PMP)	10
シアノホス (CYAP)	10	ピリミホスメチル	10
ダイアジノン	10	ピリダフェンチオン	10
ジクロフェンチオン (ECP)	10	テトラクロロルビンホス (CVMP)	10
EPN	10	トルクロホス-メチル	10
エチオン	10	トリクロロホス (DEP)	10
エトプロホス	10	バミドチオン	10
イソキサチオン	10	ブタミホス	50
マラチオン	10		

製品名	取扱い	包装	価格 (¥)	製品番号
有機りん系農薬検出キット	劇 危	1 pack (10 回分)	13,500	31115-96

ヒト正常尿に添加した各種農薬の検出事例

本製品において、カーバメート系、酸アミド系、尿素系農薬に対しては1000 µg/mLでも反応性を示さないことを確認しています。
参照元：CHEMICAL TIMES 2003 No.3（通巻189号）https://www.kanto.co.jp/dcms_media/other/backno5_pdf34.pdf



アセトアミノフェン検出キット

アセトアミノフェン（APAP）は解熱鎮痛剤として多数の総合感冒薬に配合されています。アセトアミノフェンは治療を目的とした通常の投与量では安全ですが、過剰に投与すると体内での代謝過程で生成する物質が原因となって肝臓毒性を示すことが知られています。アセトアミノフェンを含む感冒薬は、処方箋の必要がなく一般にも容易に入手できることから、近年、誤飲や過剰投与による中毒事故が毎年発生しています。



■ キット構成

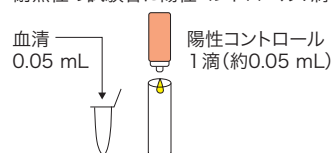
- ① 試薬A：6.5 mL × 1本
- ② 試薬B 劇：10 mL × 1本
医薬用外劇物に該当：水酸化ナトリウム
- ③ 陽性コントロール（APAP 100 ppm）：1 mL × 1本

■ 検出感度 ※検体の性状によって若干変動します

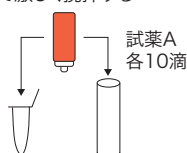
・水溶液：10 ppm ・血清：10 ppm ・尿：20 ppm

■ 使用方法（血清試料の場合：約15分）

- ① サンプルチューブに血清0.05 mLをとる
耐熱性の試験管に陽性コントロール1滴（約0.05 mL）をとる



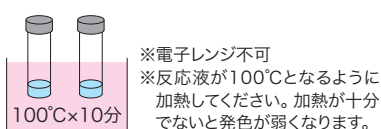
- ② サンプルチューブと試験管の両方に試薬Aを10滴ずつ加えて激しく攪拌する



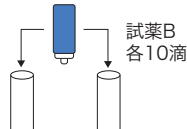
- ③ サンプルチューブを遠心し、上清を新しい耐熱性の試験管に移す



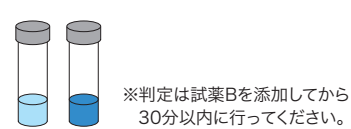
- ④ 試験管を100℃で10分間加熱する



- ⑤ 放冷後、試薬Bを10滴ずつ加えて激しく攪拌する



- ⑥ 反応液の色を観察し判定する



注）血清検体確保のため、他者から採血することは医行為に当るため、採血の資格、条件等の関連法規を順守してください。

■ 判定方法

アセトアミノフェン	反応液の色
含有	青～黒色
不含有、検出感度以下	無色～微黄色

陽性コントロール

青色：100 ppmのAPAPを含有する血清と同程度の発色を示します。
無色：操作ミス（試薬の添加ミス、加熱不十分など）の可能性があり
ます。

ヒト血清を用いた検出結果例



- ① ヒト標準血清
- ② APAP 10 ppm含有血清
- ③ APAP 100 ppm含有血清

※本キットは芳香族アミン類と反応します。
APAPのほか、p-アミノフェノール、アニリン、
硫酸p-メチルアミノフェノールと反応すること
が確認されています。
※血清測定時、陽性コントロールに比べ発色が
濃い場合は、100 ppm以上のAPAPが血
清中に含まれている可能性が示唆されます。

製品名	取扱い	包装	価格（¥）	製品番号
アセトアミノフェン検出キット	劇	1pack（10 回分）	13,500	01601-96



ヒト血清中のアセトアミノフェンの測定事例

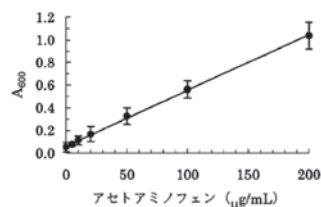
アセトアミノフェンは、反応液の波長600 nmにおける吸光度を測定することで定量した事例もあります（右図）。

参照元：CHEMICAL TIMES 2003 No.3（通巻189号）

https://www.kanto.co.jp/dcms_media/other/backno5_pdf34.pdf

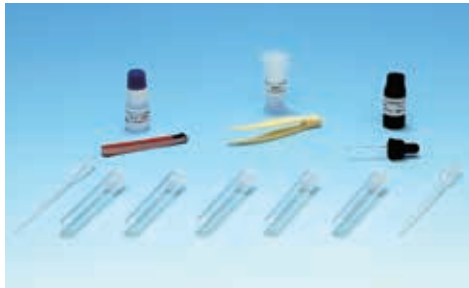
※本製品は目視による判定が可能な簡易分析用キットです。

※使用用途については、ご検証の上、ご使用ください。



アジ化ナトリウム簡易検出キット

アジ化ナトリウムが故意に混入された飲料などを摂取した人が体調を崩すといった事件が多発し、1999年1月にアジ化ナトリウムは毒物に指定されました。アジ化ナトリウム簡易検出キットは食品、飲料中に混入したアジ化ナトリウムを簡便に検出するキットであり、数多くの市販飲料に適用することが可能です。



■ キット構成

- ①キャップ付き試験管：10本
- ②試薬A（1 mol/L 亜硫酸ナトリウム溶液）：5 mL × 1本
- ③試薬B（チオ硫酸ナトリウム5水和物）：15粒
- ④アルカリ試薬（1 mol/L 水酸化ナトリウム溶液）：5 mL × 1本
- ⑤リトマス試験紙：20枚 ⑥スポイト：10本 ⑦ピンセット：1本

■ 検出感度

10～50 ppm（ウーロン茶、乳酸菌飲料、ワイン、ビール等）

■ 使用方法（約5分）

- ①試料1 mLをスポイトで試験管にとる
- ②アルカリ試薬を2～3滴加え混和する
アルカリ試薬 2～3滴
- ③リトマス試験紙で試料溶液がアルカリ性になっていることを確認する（赤→青）
- ④試薬Aを5滴加え、混和する
試薬A 5滴
- ⑤ピンセットで試薬Bを1粒加え振とうする
- ⑥試薬Bから発生する泡の有無を観察する
※振とう後、直ちに発泡が始まります

■ 判定方法

アジ化ナトリウム	泡の発生
含有	有り
不含有	無し

※振とう後、直ちに発泡が始まります。速やかに判定を行ってください。
※試験液がわずかに着色した状態の場合、発泡の確認に適していますが、着色が強い場合には適宜振とうを行うことにより、試験液は退色します。
※試料が炭酸を含む場合、液性を強アルカリ性にした後振とうし、泡が出ないことを確認してから操作を行ってください。

本キットは清涼飲料水などの検査に適用可能ですが、検体に着色や濁りが強いと判定し難くなるため、感度は下がる傾向があります。

検体	検出感度 (ppm)	検体	検出感度 (ppm)
乳酸菌飲料	10	ビール	50
高アスコルビン酸含有炭酸飲料	10	野菜ジュース	50
白ワイン	10	果汁入り清涼飲料	50
赤ワイン	50	コーヒー	100
ウーロン茶	50	牛乳	100
炭酸飲料（コーラ）	50	豆乳飲料	500

製品名	包装	価格（¥）	製品番号
アジ化ナトリウム簡易検出キット	1pack（10 回分）	13,500	37483-96

市販飲料への添加回収試験結果

アジ化ナトリウム濃度 (ppm)	サンプル飲料							
	ウーロン茶飲料	乳酸菌飲料	白ワイン	赤ワイン	ビール	ビタミンC飲料	豆乳飲料*	黒酢飲料
1000	++	++	++	++	++	++	+	++
500	++	++	++	++	++	++	+	++
100	++	++	++	+	++	++	-	++
50	++	++	++	+	++	++		+
10	±	+	+	-	+	+		-
0	-	-	-	-	±	-	-	-

++：適度の発泡が確認できた +：微細な泡がわずかに確認できた ±：陰性との区別が難しかった -：発泡が全く見られなかった
*…原液の状態では濁りにより発泡を観察できなかったため、精製水で10倍に希釈して得られた検出感度を原液量に換算した。

アルコールテストストリップ

本品は唾液（検視試料）中のアルコールを判定（半定量）するテストストリップです。
2ヶ所ある判定部分の呈色により、アルコールの濃度を推定することが可能です。

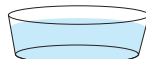


■使用方法

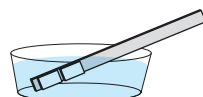
①テストストリップの入った容器を常温に戻す



②清潔な容器に唾液を入れる



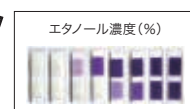
③テストストリップを取り出し、判定部①および②を唾液に10秒間浸漬させる



④5分±30秒後に判定部①と②の呈色を観察



⑤呈色パターンを参考にアルコール濃度を推定する



■判定方法（5分）

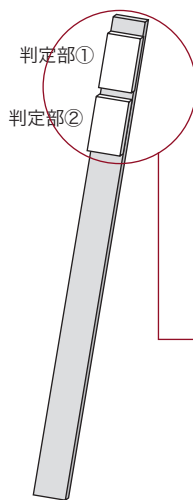
2ヶ所の判定部の呈色について、実施例の呈色パターンを参考にしてアルコール濃度を推定する。

■キット構成

テストストリップ：30本

実施例（色見本）：1枚

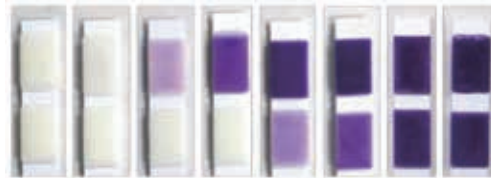
※呈色反応は徐々に進行します。測定時間（5分±30秒）は必ず厳守してください。
※呈色は酸化還元反応に基づいています。唾液中にビタミンCなどの還元剤が含まれる場合、呈色が実施例よりも弱くなることがあります。
※唾液の粘性が高い場合、呈色にムラが生じることがあります。



実施例

エタノール濃度（％）

0.00 0.01 0.02 0.04 0.08 0.16 0.32 0.64



判定時間：5分間

製品名	規格	取扱い	包装	価格（¥）	製品番号
アルコールテストストリップ	薬毒物分析用	冷（2～8℃）	1pack（30本入）	9,000	01877-96

※使用目的：検視対象の唾液中アルコール濃度の判定（半定量）

エタノール以外の物質との反応性

蒸留水に右記の物質を終濃度が0.001-1%となるように添加し、取扱説明書に記載の方法で判定部①が呈色するか否かを確認したところ、表の結果となりました。

物質／濃度	0.001%	0.01%	0.1%	1%
メタノール	×	○	○	○
1-プロパノール	×	×	○	○
2-プロパノール	×	×	×	×
1-ブタノール	×	×	×	○
2-ブタノール	×	×	×	×
ト-ブタノール	×	×	×	×
アセトアルデヒド	×	×	×	×
酢酸	×	×	×	×

○：判定部①が呈色した ×：判定部①が呈色しなかった

一般的に、薬物を同定するにはGC/MSなどの機器分析が用いられますが、摘発や密輸入の現場などにおいては迅速に薬物をスクリーニングできることが要求されています。マルキスおよびシモン試薬は、現場で薬物を簡便にスクリーニングできる検出キットです。試薬を混合するだけで呈色し、反応液の色から薬物を推定できます。

マルキス試薬

検体中の覚醒剤、麻薬等の薬物を簡単な操作で短時間に検出できるキットです。マルキス反応を応用したキットであり、窒素原子を含むアルカロイド類の定性反応で反応液が呈色し、判定が目視で行えます。



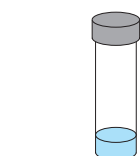
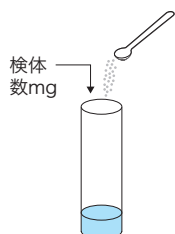
■ キット構成

- ① 試薬（硫酸（89%）、ホルムアルデヒド（3.5%）の混合溶液）**劇**：0.5 mL × 10本
- ② 検体採取用さじ：10本

■ 検出感度 ※検体の状況によって若干変動します
約10 µg

■ 使用方法

- ① 検体採取用さじで検体を数mg採取し試薬の中に添加する
- ② 混合後、反応液の色を観察し薬物を判定する



※検体を添加して数十秒以内に呈色し徐々に色が変化します

■ 判定方法

反応液の色	判定（疑い）
オレンジ色（→褐色）	アンフェタミン（AMP）
オレンジ色（→緑青色）	メタンフェタミン（MET）
緑黄色	アンチピリン、ベンダリール
紫色	モルヒネ（MOR/OPI）、ヘロイン、コデイン
無色	コカイン（COC）

※窒素原子を含むアルカロイド類が夾雑成分として含有する場合には判定に十分注意してください。

シモン試薬

検体中の覚醒剤を簡単な操作で短時間に検出できるキットです。シモン反応を応用したキットであり、脂肪族の第2級アミン類の定性反応で反応液が呈色し、判定が目視で行えます。



■ キット構成

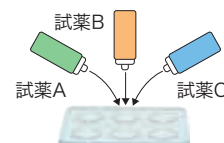
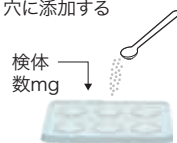
- ① 試薬A（20%炭酸ナトリウム水溶液）：1 mL × 1本
- ② 試薬B（1%ペンタシアノニトロシル鉄（III）酸ナトリウム二水和物水溶液）**毒**：1 mL × 1本
※試薬Bは長時間光に当てると、試薬が分解して失活する恐れがあります。使用後は必ず箱に入れて保管してください。

- ③ 試薬C（50%アセトアルデヒド-エタノール溶液）**危**：3 mL × 1本
- ④ 白色滴板（6穴）：5枚
- ⑤ 検体採取用さじ：10本

■ 検出感度 ※検体の状況によって若干変動します
約10 µg

■ 使用方法

- ① 検体採取用さじで検体を数mg採取し、白色滴板の1穴に添加する
- ② 検体に試薬A、B、Cを1滴ずつ添加し、混合する



- ③ 反応液の色を観察し薬物を判定する
※検体を添加して数十秒以内に呈色し徐々に色が変化します

■ 判定方法

反応液の色	判定（疑い）
橙赤（→赤～褐色）	アンフェタミン（AMP）
青藍色	メタンフェタミン（MET）

※脂肪族の第2級アミン類が夾雑成分として含有する場合には判定に十分注意してください。

製品名	取扱い	包装	価格（¥）	製品番号
マルキス試薬	劇	1pack （10 回分）	14,500	26010-96

製品名	取扱い	包装	価格（¥）	製品番号
シモン試薬	毒 危	1pack （10 回分）	13,500	37492-96

関連製品

■ ガスクロマトグラフィー関連製品

定性、定量分析を行う際に用いるガスクロマトグラフィーに使用する標準液とGC用誘導体化試薬をご用意しています。
標準液は、アルコールのGC分析において検量線作成用および性能確認用としてご使用いただけます。
GC用誘導体化試薬は、汎用的に使用されるシリル化剤4種類を使いきりの小包装をご用意しています。シリル化試薬は主にアルコール、アミン、カルボン酸、フェノール、ステロイド、生物由来アミン、アルカロイドなどの誘導体化に使用され、三ふっ化ほう素-メタノール錯体、メタノール溶液は、脂肪酸などの有機化合物のメチルエステル化試薬として使用されます。

製品名	規格	包装	価格(¥)	製品番号
エタノール標準原液 (1000 mg/L in water) 冷	ガスクロマトグラフィー用	5 mL × 5	10,500	14284-96
ビス(トリメチルシリル)トリフルオロアセトアミド【BSTFA】 危 冷	ガスクロマトグラフィー用	1 mL × 5	9,500	04651-96
N, O-ビス(トリメチルシリル)アセトアミド【BSA】 危 冷	ガスクロマトグラフィー用	1 mL × 5	4,700	04650-96
N-メチル-N-(トリメチルシリル)トリフルオロアセトアミド【MSTFA】 危 冷	ガスクロマトグラフィー用	1 mL × 5	10,000	40048-96
N-(トリメチルシリル)イミダゾール【TMSI】 危 冷	ガスクロマトグラフィー用	1 mL × 5	9,500	40047-96
三ふっ化ほう素-メタノール錯体, メタノール溶液 危 冷	ガスクロマトグラフィー用	2 mL × 5	5,700	04906-96

■ 液体クロマトグラフィー関連製品

液体クロマトグラフィーに用いる溶媒、添加剤、プレミックス製品をご用意しています。
液体クロマトグラフィー用溶媒Plusシリーズは、従来の液体クロマトグラフィー用溶媒にパーティクル保証を追加しており、カラム寿命の延長、再現性の安定・向上を図ることができます。LC/MS用溶媒は、LC/MS適合性試験によりロット毎の不純物を管理しており、安心してご使用いただけます。プレミックス製品は、調製の手間や作業環境中からの汚染に対する問題の低減を図ることが可能です。

液体クロマトグラフィー用溶媒

製品名	規格	包装	価格(¥)	製品番号
アセトニトリル -Plus- 劇 危	高速液体クロマトグラフィー用	1 L	9,000	01031-1B
		3 L	19,000	01031-2B
アセトニトリル 劇 危	LC/MS用	200 mL	4,300	01033-23
アセトニトリル -Plus- 劇 危	LC/MS用	1 L	9,500	01033-79
		3 L	20,000	01033-76
蒸留水 -Plus-	高速液体クロマトグラフィー用	1 L	1,800	11307-1B
		3 L	3,000	11307-2B
蒸留水	LC/MS用	200 mL	2,000	11307-23
蒸留水 -Plus-	LC/MS用	1 L	2,500	11307-79
		3 L	4,600	11307-76
メタノール -Plus- 劇 危	高速液体クロマトグラフィー用	1 L	2,000	25183-1B
		3 L	4,600	25183-2B
メタノール 劇 危	LC/MS用	200 mL	2,000	25185-23
メタノール -Plus- 劇 危	LC/MS用	1 L	2,500	25185-79
		3 L	5,000	25185-76

溶離液用添加剤・緩衝剤

製品名	規格	包装	価格(¥)	製品番号
1 mol/L 酢酸アンモニウム溶液 冷	高速液体クロマトグラフィー用	100 mL	6,500	01969-23
1 mol/L 塩酸アンモニウム溶液 冷	高速液体クロマトグラフィー用	100 mL	5,900	01298-23
塩酸, 98% 劇 危	高速液体クロマトグラフィー用	1 mL (A) × 5	9,500	16233-96
		25 mL (S)	6,900	16233-97
トリフルオロ酢酸 冷	高速液体クロマトグラフィー用	1 mL (A) × 5	10,000	40578-1B
		25 mL (A)	13,000	40578-2B

※ (A) …アンプル包装 (S) …ガラス瓶 (スクリューキャップ)

プレミックス製品

製品名	規格	包装	価格(¥)	製品番号
0.1vol% 塩酸-アセトニトリル 劇 危	LC/MS用	200 mL	4,500	01922-12
		1 L	8,500	01922-63
		3 L	19,000	01922-64
0.1vol% 塩酸-蒸留水	LC/MS用	200 mL	3,000	16245-12
		1 L	3,800	16245-63
		3 L	6,500	16245-64
0.1vol% トリフルオロ酢酸-アセトニトリル 劇 危	高速液体クロマトグラフィー用	1 L	10,500	41132-79
		3 L	20,000	41132-76
0.1vol% トリフルオロ酢酸-蒸留水	高速液体クロマトグラフィー用	1 L	6,000	41133-79
		3 L	9,500	41133-76

Status DS10



製造元：Princeton BioMeditech Corp.（米国）、販売元：LifeSign LLC.（PBM group）（米国）

Status DS10は尿中の乱用薬物や向精神薬など計10項目を同時に検出できるスクリーニングキットです。
覚醒剤の主成分であるメタンフェタミン（MET）と、その代謝物であるアンフェタミン（AMP）をそれぞれ検出できます。



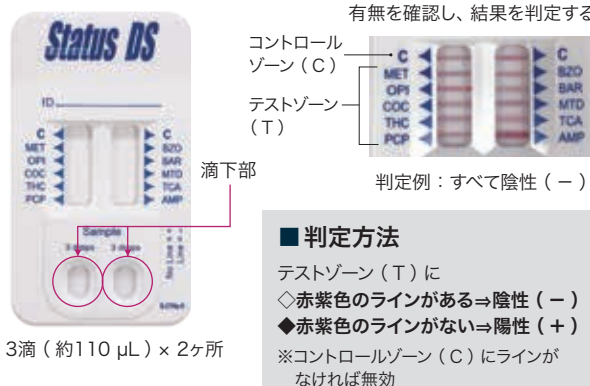
■ 特徴

項目数	10項目
検体量	約110 μL × 2（付属スポイト3滴 × 2ヶ所）
判定時間	5～10分
保管温度	2～30℃
使用期限	製造後24ヶ月（外装に記載）

■ 使用方法

（例）Status DS10

①尿検体を付属のスポイトで滴下する ②**5分後～10分以内**にラインの有無を確認し、結果を判定する



■ 判定方法

テストゾーン（T）に
◇赤紫色のラインがある⇒陰性（－）
◆赤紫色のラインがない⇒陽性（＋）
※コントロールゾーン（C）にラインがなければ無効

略号	項目名	カットオフ濃度（ng/mL）
MET	メタンフェタミン（覚醒剤）	1000
AMP	アンフェタミン（覚醒剤代謝物）	1000
THC	大麻	50
COC	コカイン系麻薬	300
BZO	ベンゾジアゼピン系	300
BAR	バルビツール酸系	300
OPI	モルヒネ系麻薬	300
TCA	三環系抗うつ薬	1000
PCP	フェンシクリジン系	25
MTD	メサドン	300

製品名	包装	項目	カットオフ濃度（ng/mL）	価格（¥）	製品番号
Status DS10	25 test	10項目 （MET/AMP/THC/COC/BZO/ BAR/OPI/TCA/PCP/MTD）	MET：1000 AMP：1000 THC：50 COC：300 BZO：300 BAR：300 OPI：300 TCA：1000 PCP：25 MTD：300	82,000	49502-27
	10 test			37,000	49502-31



覚醒剤成分の代謝について

メタンフェタミンとアンフェタミン※1抜粋

本邦で乱用される覚醒剤はD-(d)-メタンフェタミンであるが、海外ではD-(d)-アンフェタミンが主流な地域もある。効果は通常2～4時間程度、半減期は9～24時間である。メタンフェタミンは、主に未変化体のまま尿中に排泄されるが、一部アンフェタミンとなって尿中に排泄される。

MET、AMPの交差反応情報※3

Status DS10ではMETおよびAMPの検査項目が独立している。カットオフ濃度の比較による各成分の特異性を右表に示す。（単位：ng/mL）

メタンフェタミン塩酸塩20mg経口投与後24時間尿中※2

- 未変化体（MET）：18～27%
- 代謝物として、p-OH-MET：14～16%、AMP：2～3%、ノルエフェドリン：2%、p-OH-AMP：1%、p-OH-エフェドリン：1～2%、馬尿酸：4～6%

	MET	AMP
D-Methamphetamine	1,000	>100,000
D-Amphetamine	>100,000	1,000

【参考】※1：斉藤剛、乱用薬物スクリーニングキットStatus DS10及びDRIVEN-FLOWの性能、THE CHEMICAL TIMES, V257, No.3, p20-27, 2020

※2：日本薬学会編『薬毒物試験法と注解2006』p192 ※3：Status DS10 取扱説明書

製造元：Princeton BioMeditech Corp.（米国）

AccuSign® シリーズは、販売開始から20年以上の歴史を持つスクリーニングキットです。

4項目を同時に検出できるマルチタイプDOA4シリーズとシングルタイプ各種をご用意しています。



■ 特徴

項目数	1 or 4項目
検体量	約110 μL（付属スポイト3滴）
判定時間	3 or 5～10分
保管温度	2～30℃
使用期限	製造後24ヶ月（外装に記載）

■ 使用方法

（例）AccuSign® MET

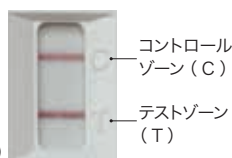
①尿検体を付属のスポイトで滴下する

②3分後～10分以内にラインの有無を確認し、結果を判定する

判定例：MET（－）



3滴（約110 μL）



■ 判定方法

テストゾーン（T）に
◇赤紫色のラインがある⇒陰性（－）
◆赤紫色のラインがない⇒陽性（＋）
※コントロールゾーン（C）にラインがなければ無効

略号	項目名	カットオフ濃度（ng/mL）	DOA4-MET	DOA4-AMP
MET	メタンフェタミン（覚醒剤）	1000	○	－
AMP	アンフェタミン（覚醒剤代謝物）	1000	－	○
THC	大麻	50	○	○
COC	コカイン系麻薬	300	○	○
OPI	モルヒネ系麻薬	300	○	○

製品名	包装	項目	カットオフ濃度（ng/mL）	価格（¥）	製品番号
マルチタイプ					
AccuSign® DOA4-MET	35 test	4項目 （THC/COC/OPI/MET）	MET：1000 AMP：1000 THC：50 COC：300 OPI：300	80,000	49502-20
	10 test			30,000	49502-21
AccuSign® DOA4-AMP	35 test	4項目 （THC/COC/OPI/AMP）		80,000	49502-18
	10 test			30,000	49502-19
シングルタイプ					
AccuSign® MET500（高感度タイプ）	35 test	メタンフェタミン	500	24,000	49502-22
AccuSign® MET	35 test	メタンフェタミン	1000	24,000	49502-00
	10 test			9,200	49502-10
AccuSign® AMP	35 test	アンフェタミン	1000	24,000	49502-01
	10 test			9,200	49502-11
AccuSign® THC	35 test	大麻	50	24,000	49502-02
	10 test			9,200	49502-12
AccuSign® OPI	35 test	モルヒネ系麻薬	300	24,000	49502-03
	10 test			9,200	49502-13
AccuSign® COC	35 test	コカイン系麻薬	300	24,000	49502-04
	10 test			9,200	49502-14
AccuSign® BAR	35 test	バルビツール酸系	300	24,000	49502-05
	10 test			9,200	49502-15
AccuSign® BZO	35 test	ベンゾジアゼピン系	300	24,000	49502-06
	10 test			9,200	49502-16
AccuSign® TCA	35 test	三環系抗うつ薬	1000	24,000	49502-09
	10 test			9,200	49502-17
AccuSign® PCP	35 test	フェンシクリジン系	25	24,000	49502-07
	10 test			9,200	49502-24
AccuSign® MTD	35 test	メサドン	300	24,000	49502-08
	10 test			9,200	49502-23

DRIVEN-FLOW® M8-Z



製造元：Alfa Scientific Designs, Inc.（米国）

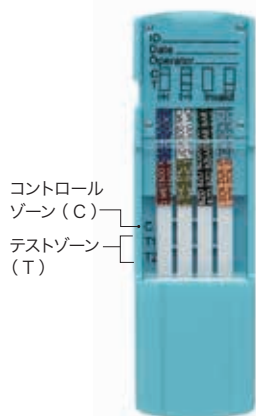
DRIVEN-FLOW® M8-Zは、デバイスのキャップを閉じて検体の流れに圧力を加える独自の設計により、従来のDRIVEN-FLOW IVシリーズ（P.13掲載）よりも少ない検体量かつ短時間で検査が可能となった新しいシリーズです。非ベンゾジアゼピン系睡眠導入剤ゾルピデム（ZOL）も検出できます。また、検体滴下後2時間以内であれば結果が変化しないため、判定時間に囚われずに現場で検査が可能です。

■ 特徴

項目数	8項目
検体量	約160～200 μL（付属スポイト4、5目盛）
判定時間	1～5分
保管温度	2～30℃
使用期限	製造後24ヶ月（外装に記載）

■ 使用方法

①尿検体を付属のスポイトで滴下する



4目盛（約160～200 μL）

②スライダーをしっかりと押し上げる



③約5分後にラインの有無を確認し、結果を判定する



滴下後、2時間以内
は結果読み取り可能

判定例：
BZD、ZOL（+）、
上記以外（-）



■ 判定方法

テストゾーン（T）に

◇赤紫色のラインがある⇒陰性（-）

◆赤紫色のラインがない⇒陽性（+）

※コントロールゾーン（C）にラインがなければ無効

略号	項目名	カットオフ濃度（ng/mL）
MET	メタンフェタミン（覚醒剤）	500
THC	大麻	50
COC	コカイン系麻薬	300
BZD	ベンゾジアゼピン系	300
BAR	バルビツール酸系	200
TCA	三環系抗うつ薬	1000
MOR	モルヒネ系麻薬	300
ZOL	ゾルピデム	50

製品名	包装	項目	カットオフ濃度（ng/mL）	価格（¥）	製品番号
DRIVEN-FLOW® M8-Z	25 test	8項目 （MET500/THC/COC/BZD/ BAR/TCA/MOR/ZOL）	MET： 500 THC： 50 COC： 300 BZD： 300 BAR： 200 TCA： 1000 MOR： 300 ZOL： 50	66,000	49601-00
	5 test			18,000	49601-01

DRIVEN-FLOW® IV M6



製造元：Alfa Scientific Designs, Inc.（米国）

DRIVEN-FLOW® IV M6は、1ストリップ1項目仕様で計6項目を同時検出できるスクリーニングキットです。



■ 特徴

項目数	6項目
検体量	約650～700 μL（付属スポイト規定量）
判定時間	5～7分
保管温度	2～30℃
使用期限	製造後24ヶ月（外装に記載）

■ 使用方法

①付属のスポイトの標線まで尿検体を吸い取る

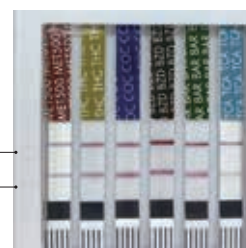


②滴下部に様に滴下する



滴下部

③5分後～7分以内に
ラインの有無を確認し、
結果を判定する



コントロール
ゾーン（C）
テストゾーン
（T）

■ 判定方法

テストゾーン（T）に
◇赤紫色のラインがある⇒陰性（－）
◆赤紫色のラインがない⇒陽性（＋）
※コントロールゾーン（C）にラインがなければ無効

判定例：
すべて陰性（－）

	①	②	③	④	⑤	⑥
	MET	THC	COC	BZD	BAR	TCA
C						
T						

略号	項目名	カットオフ濃度（ng/mL）
MET	メタンフェタミン（覚醒剤）	500
THC	大麻	50
COC	コカイン系麻薬	300
BZD	ベンゾジアゼピン系	300
BAR	バルビツール酸系	200
TCA	三環系抗うつ薬	1000

製品名	包装	項目	カットオフ濃度（ng/mL）	価格（¥）	製品番号
DRIVEN-FLOW® IV M6	25 test	6項目 （MET500/THC/COC/BZD/ BAR/TCA）	MET： 500 THC： 50 COC： 300 BZD： 300 BAR： 200 TCA： 1000	60,000	49600-00
	5 test			15,000	49600-01
DRIVEN-FLOW® IV M3	25 test	3項目 （MET500/THC/COC）		45,000	49600-02

DRIVEN-FLOW® IVシリーズ



製造元：Alfa Scientific Designs, Inc. (米国)

DRIVEN-FLOW® IVシリーズでは、麻薬に指定されている『ケタミン』や『フェンタニル』、合成カンナビノイド系『K2』など特殊な検査項目のシングルテストをご用意しています。



製品名	包装	測定項目	カットオフ濃度 (ng/mL)	価格 (¥)	製品番号
DRIVEN-FLOW® IV MET1000	25 test	メタンフェタミン (覚醒剤)	1000	19,000	49600-03
DRIVEN-FLOW® IV MET2000	25 test	メタンフェタミン (覚醒剤)	2000	19,000	49600-04
DRIVEN-FLOW® IV THC L50	25 test	大麻	50	19,000	49600-05
DRIVEN-FLOW® IV MOR	25 test	モルヒネ系麻薬	300	19,000	49600-06
DRIVEN-FLOW® IV COC	25 test	コカイン系麻薬	300	19,000	49600-07
DRIVEN-FLOW® IV MDMA	25 test	MDMA	500	19,000	49600-08
DRIVEN-FLOW® IV BZD	25 test	ベンゾジアゼピン系	300	19,000	49600-09
DRIVEN-FLOW® IV BAR	25 test	バルビツール酸系	200	19,000	49600-10
DRIVEN-FLOW® IV K2	25 test	合成カンナビノイド系	300	19,000	49600-11
DRIVEN-FLOW® IV PCP	25 test	フェンシクリジン系	300	19,000	49600-12
DRIVEN-FLOW® IV KET	25 test	ケタミン	1000	19,000	49600-41
DRIVEN-FLOW® IV Fentanyl 200	25 test	フェンタニル	200	19,000	49600-42
DRIVEN-FLOW® IV Cotinine	40 test	コチニン	200	30,400	49600-44

SureStep MDMA

innovacon®

製造元：Innovacon, Inc. (米国)

SureStep MDMAは合成麻薬であるMDMA (メチレンジオキシメタンフェタミン) を検出できるスクリーニングキットです。



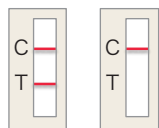
■ 使用方法

①付属のスプイトで尿検体を3滴
滴下する



②5分後～10分以内にラインの
有無を確認し、結果を判定する

陰性 (-) 陽性 (+)



(C) コントロールゾーン
(T) テストゾーン

■ 判定方法

テストゾーン (T) に

◇色付きのラインがある⇒陰性 (-)

◆色付きのラインがない⇒陽性 (+)

※コントロールゾーン (C) にラインがなければ無効

■ 特徴

項目数	1項目 (MDMA)
検体量	約100 µL (付属スプイト3滴)
判定時間	5～10分
保管温度	2～30 °C
使用期限	製造後24ヶ月 (外装に記載)

下記表は、5分後に陽性反応を示す化合物とその濃度を示したものです。

項目	カットオフ濃度 (ng/mL)
d,l-3,4-Methylenedioxymethamphetamine (MDMA)	500
d,l-3,4-Methylenedioxyamphetamine (MDA)	3000
3,4-Methylenedioxyethylamphetamine (MDEA)	300

製品名	包装	項目	カットオフ濃度 (ng/mL)	価格 (¥)	製品番号
SureStep MDMA	40 test	MDMA	500	29,500	49002-75

製造元：Kappa City Biotech SAS（仏国）

NarcoCheck® シリーズでは、非ベンゾジアゼピン系睡眠導入剤であるゾルピデムや、麻薬指定の幻覚剤であるLSDを検出できるシングルテストをご用意しています。検体を付属のスポイトで滴下またはキャップを外して浸漬させる方法で検査できます。

交差反応性の参考情報

ブランク尿にLSDの主要代謝物2,3-dihydro-3-hydroxy-2-oxo-lysergideを添加し交差反応性を確認したところ、150 ng/mL以上で陽性となりました。実際のLSD服用尿2例でも検出可能であることを確認しています。その際の2,3-dihydro-3-hydroxy-2-oxo-lysergide濃度は12.5 ng/mLと23.4 ng/mLでした。

（東海大学 医学部 総合診療学系 救命救急医学 斉藤剛特任准教授に評価いただきました）

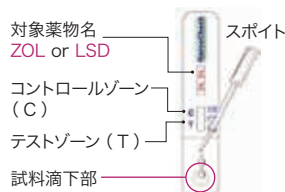
■ 特徴

項目数	1項目
検体量	約100～120 μL（付属スポイト3、4滴）
判定時間	5～15分
保管温度	2～30℃
使用期限	製造後18ヶ月（外装に記載）

■ 使用方法

滴下方法

- ①付属のスポイトで検体を3～4滴、滴下する



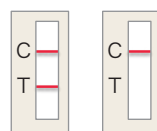
ディップ方法

- ①キャップを外し、試験紙部分を検体に30秒間浸漬する



- ②5分後～15分以内にラインの有無を確認し、結果判定する

陰性（－） 陽性（＋）



（C）コントロールゾーン
（T）テストゾーン

■ 判定方法

テストゾーン（T）に

◇赤紫色のラインがある⇒陰性（－）

◆赤紫色のラインがない⇒陽性（＋）

※コントロールゾーン（C）にラインがなければ無効

製品名	包装	項目	カットオフ濃度（ng/mL）	価格（¥）	製品番号
NarcoCheck® Zolpidem	25 test	ZOL（ゾルピデム）	50	27,000	49600-60
NarcoCheck® LSD	25 test	LSD （リゼルグ酸ジエチルアミド）	20	27,000	49600-61

Rapid Testシリーズ

製造元：Hangzhou Alltest Biotech Co., Ltd.（中国）

Rapid Testシリーズでは、非ベンゾジアゼピン系睡眠薬であるゾルピデム、ゾピクロン、ザレプロン（国内未承認薬）を検出できるキットをはじめ、尿の性状検査項目としてクレアチニン、pHを追加したキットもご用意しています。



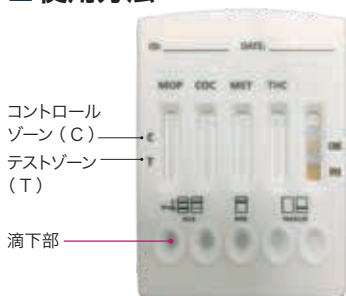
■ 特徴

項目数	3, 5, 6項目ほか
検体量	約120 μL（付属スポイト3滴）× 滴下部の個数
判定時間	5～10分
保管温度	2～30℃
使用期限	製造後20～24ヶ月（外装に記載）

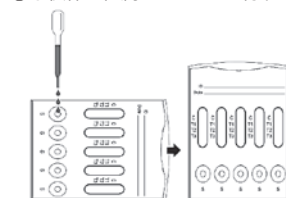
製造元：Hangzhou Alltest Biotech Co., Ltd. (中国)

■ 使用方法

(例) Multi-Drug 4-DOA+CRE/pH Rapid Test

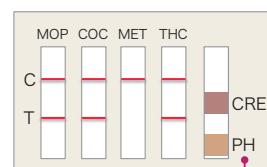


①尿検体を付属のスプイトで滴下する



3滴 (約120 µL) × 5ヶ所

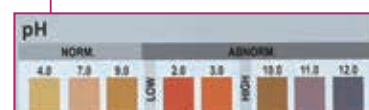
②3分後～5分以内に右端の試験紙の呈色を確認し、色見本と比較して結果を判定する



判定例：MET (+)、MET以外 (-)
CRE、pHいずれも正常



正常 or 正常値外



③5分後～10分以内に
ラインの有無により結果を判定する

■ 判定方法

テストゾーン (T) に ◇赤紫色のラインがある⇒陰性 (-)

◆赤紫色のラインがない⇒陽性 (+)

※コントロールゾーン (C) にラインがなければ無効

製品名	包装	項目	カットオフ濃度 (ng/mL)	価格 (¥)	製品番号
Multi-Drug 3-non-BZO Rapid Test	25 test	3項目 (ZOL/ZOP/ZAL)	ZOL : 50 ZOP : 50 ZAL : 50	35,000	49601-71
Multi-Drug 5-Sleeping pills Rapid Test	25 test	5項目 (BAR/BZO/ZOL/ZOP/ZAL)	BAR : 300 BZO : 300 ZOL : 50 ZOP : 50 ZAL : 50	45,000	49601-76
Multi-Drug 4-DOA+CRE/pH Rapid Test	25 test	薬物4項目+性状試験2項目 (MET/THC/COC/MOP +CRE/pH)	MET : 500 THC : 50 COC : 300 MOP : 300	44,000	49601-77

※検査項目の詳細情報は、下記表をご参照ください。

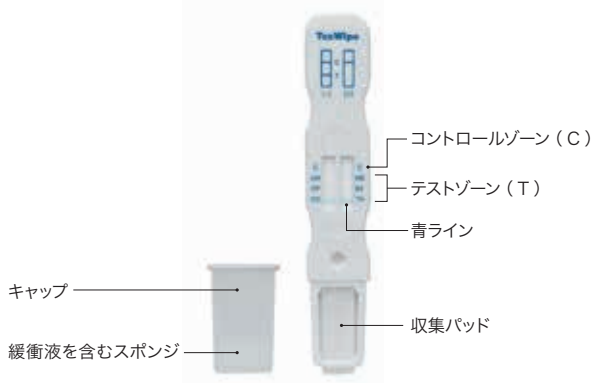
■ Rapid Testシリーズ取扱項目一覧

イムノクロマトキットRapid Testシリーズの取扱項目をご紹介します。尿だけでなく、血液、唾液、毛髪、粉末などの検体に対応可能な検査項目もございますので、ご興味ございましたらお気軽にお問合せください。なお、下記情報は予告なく変更となる可能性がありますのでご了承ください。

項目名	略号	項目名	略号	項目名	略号
AB-PINACA	ABP	フルオケタミン	FKET	アヘン剤	OPI
アセトアミノフェン	ACE	フルオキシセチン	FLX	オキシコドン	OXY
7-アミノクロナゼパム	7-ACL	フェンタニル	FYL	パバペリン	PAP
アルプラザラム	ALP	ガバペンチン	GAB	フェンシクリジン	PCP
アンフェタミン	AMP	ケタミン	KET	プレガバリン	PGB
α-ピロリジノバレロフェノン	α-PVP	クラトム	KRA	プロボキシフェン	PPX
バルビツール酸系	BAR	リセルゲ酸ジエチルアミド	LSD	クエチアピン	QTP
ブプレノルフィン	BUP	6-モノアセチルモルヒネ	6-MAM	リスベリドン	RPD
ベンゾジアゼピン系	BZO	メトカチノン	MCAT	スコボラミン	SCOP
カリソプロドール	CAR	エクスタシー	MDMA	合成マリファナ	K2
カチン	CAT	3,4-メチレンジオキシアンフェタミン	MDA	チリジン	TLD
カフェイン	CAF	メチレンジオキシピロバレロン	MDPV	三環系抗うつ薬	TCA
カンナビノール	CNB	メタンフェタミン	MET	大麻	THC
シタロプラム	CIT	メフェドロンHCl	MEP	トラマドール	TML
クロナゼパム	CLO	メスカリン	MES	トロピカミド	TRO
コカイン	COC	モルヒネ	MOP	トラゾドン	TZD
コチニン	COT	メチルフェニデート	MPD	UR-144	UR-144
カルフェンタニル	CFYL	メペリジン	MPRD	ザレプロン	ZAL
ジアゼパム	DIA	メタカロン	MQL	ゾルピデム	ZOL
エチレンジアミン-ジメチルホスフィン酸	EDDP	メタドン	MTD	ゾピクロン	ZOP
エチルグルクロニド	ETG	オランザピン	OZP		

製造元：Oranoxis Inc.（米国）

ToxWipe™ Oral 6+は、唾液検体を対象とする薬物検出スクリーニングキットです。採取パッド部分が薄い仕様であり、唾液採取が容易です。デバイスの蓋内部には緩衝液を含ませたスポンジが設置されており、検体の浸透をより早めてくれます。

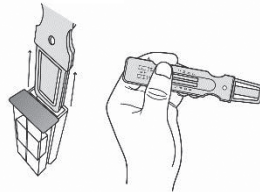


■ 特徴

項目数	6項目
判定時間	3～5分
保管温度	2～30℃
使用期限	製造後24ヶ月（外装に記載）

■ 使用方法 ※検査前にデバイスを室温状態にする

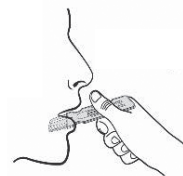
- ①テストデバイス先端のキャップを外す（テストデバイスのテストゾーン（T）の下部に各々青いラインがでていることを確認する）



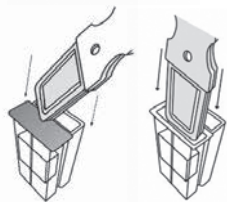
- ③青いラインが上部に移動し始めるまで、唾液の採取（②）を繰り返す



- ②先端の収集パッド部分を口に含み、舌や舌下部にパッドをあてて拭くように動かし、唾液を吸収する



- ④青いラインの上昇が確認できたら、デバイスを口から抜き、収集パッドの角で封印シールの中心を押し破り、デバイスを奥まで差し入れる（青いラインが上部に移動し、テストゾーン（T）上から見えなくなれば唾液が十分に収集されたことを示す）



- ⑤テストデバイスを平置きし、**3分後～5分以内**にラインの有無を確認し、結果を判定する



■ 判定方法

テストゾーン（T）に
◇赤紫色のラインがある⇒陰性（-）
◆赤紫色のラインがない⇒陽性（+）

※3分以内に全てのラインが現れたら【陰性】

※3分時点でいずれかのラインが現れない場合は、5分時点で再度ラインを確認する

C AM OP CO C ME BZ TH	C AM OP CO C ME BZ TH	C AM OP CO C ME BZ TH
陰性	陽性	無効
	OP, CO, TH : 陽性	コントロール(C)にラインがなければ無効

略号	項目名	基準化合物	カットオフ濃度（ng/mL）
AM	アンフェタミン（覚醒剤代謝物）	d-アンフェタミン	50
ME	メタンフェタミン（覚醒剤主成分）	d-メタンフェタミン	50
OP	モルヒネ系麻薬	モルヒネ	40
BZ	ベンゾジアゼピン系	オキサゼパム	10
CO	コカイン系麻薬	ベンゾイルエクゴニン	20
TH	大麻	Δ ⁹ -テトラヒドロカンナビノール	25

製品名	包装	項目	カットオフ濃度（ng/mL）	価格（¥）	製品番号
ToxWipe™ Oral 6+	25 test	6項目	AM : 50 ME : 50 OP : 40 BZ : 10 CO : 20 TH : 25	65,000	49600-70

■ 尿中薬物スクリーニングキットにおける、各項目名と基準化合物および関連法規

項目名	基準化合物	関連法規
メタンフェタミン（覚醒剤主成分）	d-メタンフェタミン	覚醒剤取締法
アンフェタミン（覚醒剤代謝物）	d-アンフェタミン	覚醒剤取締法
大麻	11-nor- Δ^9 -THC-9-COOH	大麻取締法
コカイン系麻薬	ベンゾイルエグゴニン	麻薬及び向精神薬取締法（麻薬）
モルヒネ系麻薬	モルヒネ	麻薬及び向精神薬取締法（麻薬）
ベンゾジアゼピン系（睡眠薬・抗不安薬）	オキサゼパム	麻薬及び向精神薬取締法（向精神薬）
バルビツール酸系（睡眠薬）	セコバルビタール	麻薬及び向精神薬取締法（向精神薬）
フェンシクリジン系（麻酔薬）	フェンシクリジン	麻薬及び向精神薬取締法（麻薬）
三環系抗うつ薬	ノルトリプチリン	麻薬及び向精神薬取締法（向精神薬）
メサドン（オピオイド系鎮痛薬）	メサドン	麻薬及び向精神薬取締法（麻薬）
ゾルピデム（睡眠薬）	ゾルピデム	麻薬及び向精神薬取締法（向精神薬）
ゾピクロン（睡眠薬）	ゾピクロン	麻薬及び向精神薬取締法（向精神薬）
ザレプロン（睡眠薬；国内未承認）	ザレプロン	—

■ 弊社取扱商品が掲載されている文献一覧（掲載品は下記表をご確認ください）

掲載品	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
Status DS10/AccuSign	●	●		●		●					●	●	●	●	●	●	●
DRIVEN-FLOW M8-Z				●	●	●					●	●	●	●	●	●	●
DRIVEN-FLOW M7/M7-II*				●		●		●	●		●						
DRIVEN-FLOW IV M6				●	●	●					●					●	
NarcoCheck							●										
Rapid Test										●							
Oratect*（唾液検査キット）			●														

*販売中止品

◆1. 奈女良 昭（広島大学大学院医歯薬学総合研究科法医学）
ベンゾジアゼピン系薬物とその代謝物の検出における4種類の薬物検査デバイスの比較
—主としてチエノジアゼピン系薬物エチゾラムの検出について—
中毒研究, Vol.24, p27-34, 2011

◆2. 内田 雪絵（広島県警察本部刑事部科学捜査研究所）
薬物スクリーニングキットのための限外濾過フィルタを用いた溶血液前処理法
中毒研究, Vol.25, No.2, p111-112, 2012

◆3. Hirokazu Toubou (Hiroshima University)
Detection of abused drugs in human blood by using
the on-site drug-screening device Oratect® III
Legal Medicine Vol.16, Sep. 2014, p308-313

◆4. 斉藤 剛（東海大学医学部総合診療学系救命救急医学）
乱用薬物スクリーニングキットStatus DS10及びDRIVEN-FLOWの性能
THE CHEMICAL TIMES, Vol.257, No.3, p20-27, 2020

◆5. 三熊 敏靖（日本薬科大学分子機能科学分野分析科学研究室）
尿中覚せい剤の現場予試験におけるDRIVEN-FLOW®の有効性の検証
日本薬学会 第140年会, 一般ポスター発表27P-pm111S, 2020

◆6. 斉藤 剛（東海大学医学部総合診療学系救命救急医学）
薬物検査キットStatus DS10とDRIVEN-FLOWの評価
日本法中毒学会第39年会, 一般講演O-9, 講演要旨集, p57, 2020

◆7. 奈女良 昭（広島大学大学院医歯薬学総合研究科法医学）
尿中ゾルピデム検査キットの交差反応性の検証と有用性評価
日本法中毒学会第39年会, 一般講演P-9, 講演要旨集, p68, 2020

◆8. 田中 敏子（産業医科大学医学部法医学）
尿中薬物簡易検査キットDRIVEN-FLOW™ M7の剖検尿での有用性
—TriageDOA™との比較—
第104次日本法医学会学術全国集会, 口演発表B13, 講演要旨, p58, 2020

◆9. Toshiko Tanaka
(University of Occupational and Environmental Health)
Efficacy of DRIVEN-FLOW® M7-II, a new on-site drug
screening kit in postmortem urine compared with Triage DOA®
Legal Medicine Vol.48, Feb. 2021, 101804

◆10. 奈女良 昭（広島大学大学院医歯薬学総合研究科法医学）
簡易検出キットを用いた睡眠薬・睡眠導入剤の検出
日本法中毒学会第40年会, 一般講演19, 2021

◆11. 奈女良 昭（広島大学大学院医歯薬学総合研究科法医学）
法医学解剖試料を用いた簡易薬物検査キットDRIVEN-FLOWおよびStatusの有用性評価
医学と薬学, Vol.78, No.11, p1381-1392, 2021

◆12. 田中 敏子（産業医科大学医学部法医学）
簡易薬物スクリーニングキットTriage DOA®, Status DS10, および
DRIVEN-FLOW® M8-Zの死後尿での評価/
Assessment of Triage DOA®, Status DS10, and DRIVEN-FLOW®
M8-Z on-site drug screening kits for postmortem urine
Legal Medicine Vol.54, Feb. 2022, 101993

◆13. Masae Iwai (Aichi Medical University School of Medicine)
Evaluation of five drug screening devices for testing of
amphetamines and methamphetamines
Medical Mass Spectrometry Vol.6 No.1, June 2022

◆14. 奈女良 昭（広島大学大学院医歯薬学総合研究科法医学）
簡易薬物検査キットにおける覚醒剤の見逃しと偽陽性について
第106次日本法医学会学術全国集会, 一般演題P75,
プログラム・抄録集, p79, 2022

◆15. 谷 直人（大阪公立大学医学研究科法医学）
簡易薬物検出キットStatus DS10およびDRIVEN-FLOW M8-Zの評価
—心臓血液検体の有用性について—
第106次日本法医学会学術全国集会, 一般演題P77,
プログラム・抄録集, p80, 2022

◆16. 斉藤 剛（東海大学医学部総合診療学系救命救急医学）
新規尿中乱用薬物スクリーニングキットの解説
中毒研究, Vol.35, No.4, p339-343, 2022

◆17. 奈女良 昭（広島大学大学院医歯薬学総合研究科法医学）
新規尿中乱用薬物スクリーニングキットの解説2
中毒研究, Vol.36, No.1, p51-54, 2023

参考情報

尿中薬物スクリーニングキット（マルチタイプ）

■ カットオフ濃度（ng/mL）比較表

項目名	Status		AccuSign®		DRIVEN-FLOW®				Rapid Test MULTI-DRUG		
	略号	DS10	DOA4-MET	DOA4-AMP	略号	M8-Z	IV M6	IV M3	略号	4-DOA+CRE/pH	5-Sleeping pills
メタンフェタミン	MET	1000	1000	—	MET	500	500	500	MET	500	—
アンフェタミン	AMP	1000	—	1000	—	—	—	—	—	—	—
大麻	THC	50	50	50	THC	50	50	50	THC	50	—
コカイン系麻薬	COC	300	300	300	COC	300	300	300	COC	300	—
モルヒネ系麻薬	OPI	300	300	300	MOR	300	—		MOP	300	—
ベンゾジアゼピン系	BZO	300			BZD	300	300		BZO		300
バルビツール酸系	BAR	300			BAR	200	200		BAR		300
フェンシクリジン系	PCP	25			—	—	—		—		—
三環系抗うつ薬	TCA	1000			TCA	1000	1000		—		—
メサドン	MTD	300			—	—			—		—
ゾルピデム					ZOL	50			ZOL		50
ゾピクロン									ZOP		50
ザレプロン									ZAL		50
クレアチニン、pH									CRE, pH	○※	

※色調による判定項目（P.16参照）

■ 仕様

シリーズ名	Status DS	AccuSign®	DRIVEN-FLOW®			Rapid Test MULTI-DRUG	
	DS10	DOA4-MET	M8-Z	IV M6	IV M3	4-DOA+CRE/pH	5-Sleeping pills
デバイスイメージ							
項目数	10項目	4項目	8項目	6項目	3項目	6項目	5項目
検体量	約110 µL × 2	約110 µL	約160-200 µL	約650-700 µL	約550-660 µL	約120 µL × 5	約120 µL × 5
判定時間	5～10分	5～10分	1～5分 ※2時間以内	5～7分	5～7分	5～10分	5～10分
保管温度	2～30℃	2～30℃	2～30℃	2～30℃	2～30℃	2～30℃	2～30℃
使用期限 （製造後）	24ヶ月	24ヶ月	24ヶ月	24ヶ月	24ヶ月	20～24ヶ月	20～24ヶ月
サイズ （タテ×ヨコ cm）	7.0 × 4.0	7.0 × 3.0	9.6 × 2.7	11.6 × 4.3	11.6 × 4.3	7.0 × 5.0	7.0 × 5.0
製造元	Princeton BioMeditech Corp.		Alfa Scientific Designs, Inc.			Hangzhou Alltest Biotech Co., Ltd.	
掲載ページ	P.10	P.11	P.12、P.13			P.15、P.16	

- 本記載の製品は、試薬（試験、研究用として用いる化学薬品）であり、体外診断用医薬品ではありませんので、診断等の目的では使用しないでください。
- 本記載価格に、消費税等は含まれておりません。
- 本記載の製品情報は予告なく変更する場合があります。最新情報は、弊社ホームページ「Cica-Web」をご確認ください。



関東化学株式会社
試薬事業本部

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号

TEL : 03-6214-1090

HP : <https://www.kanto.co.jp>

EA230606 RFA-00 (202307)